

野草コース花情報板

この小径には、四季を通じてたくさんの野草が咲きます。
いろいろな姿で生きている花たちをよく観察して下さい。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8



1 自然が織り成す氷の華

冬になり、外気が氷点下になると次々と植物の地上部が枯れていきます。しかし、地中はまだ温かく、しばらく根は活動しています。水を吸い上げる力の強い植物はまだまだ水を吸い上げようとします。茎の中にある導管（水が通る管）が上がってきた水は、茎の途中などから染み出して、これが外気に触れ凍り始めます。

そして、茎がどんどん破れ広がると共に、氷の結晶(氷の華)が次第に大きくなり、リボン状や柱状に結晶することから、「シモバシラ(霜柱)」の名前があります。最後は草茎自体も破れてしまい、また地中も凍り、根が氷を上げるができなくなり、見ることができなくなります。

この氷の華は、「シモバシラ」以外にも「カシワバハグマ」や「ユウガギク」でも同様の現象が、強く冷え込んだ日の午前中に見かけることができます。

野草コースでは例年、年末頃からこの現象を観察することができます。



3 早春の野草情報

しじみ草、花びらと葉が別れています。2月上旬頃から咲き始め、野草が花を咲かせます。葉は葉の裏側が赤くなります。

 カシワバハグマ 3月中旬～3月下旬	 ヤマブツクシ 4月中旬～4月下旬	 ヤマシロツバキ 4月中旬
 フリジュンシ 2月上旬～2月下旬	 ヒメアザミ 2月下旬～3月上旬	 キクヨクキク 3月下旬～4月上旬
 オオミスミソ 2月下旬～3月中旬	 シロツバク 3月下旬～4月上旬	 ツバキ 3月下旬～4月上旬
 シロツバク 4月上旬～4月中旬	 シロツバク 4月上旬～4月中旬	 シロツバク 4月中旬～4月下旬



国営武蔵丘陵森林公園